

令和7年度水源地域未来会議

- 第3部 -

ダムツーリズム

事例紹介

令和7年6月

国土交通省

No	団体名	施策・関連ダム
1	青森県西目屋村	津軽ダム
2	宮城県	プレミアムダムカード
3	宮城県大崎市	鳴子ダム
4	群馬県長野原町	ハッ場ダム
5	(公財) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	宮ヶ瀬ダム
6	京都府宇治市	天ヶ瀬ダム
7	広島県安芸太田町	温井ダム
8	香川県	香川用水施設見学バスツアー
9	鹿児島県さつま町	鶴田ダム

- 西目屋村は、白神山地を源流とした岩木川の上流部にあたり、津軽ダムが立地している村である。
- 平成28年10月に津軽ダム（目屋ダム再開発事業）が竣工したことをきっかけとして、拡大したダム湖（津軽白神湖）を活用した水陸両用バスの運行や津軽ダム見学ツアー等のインフラツーリズムに取り組むことで、地域の活性化や交流人口の拡大を推進している。また、令和6年7月からは、地酒のダム貯蔵を開始。

■取組概要

○水陸両用バスの運行

津軽ダム水源地域ビジョン策定関係会議での検討等を経て、平成29年4月30日に西目屋村水陸両用バス「ニシメヤ・ダムレイクツアー」運行開始

- ・運行期間：4月下旬～10月31日（毎週水曜日運休）
※R7～R8はダム湖が国スポ（カヌー競技）の会場となるため、期間を短縮して運行予定
- ・運行便数：1日4便
※令和2年から国土交通省岩木川ダム統合管理事務所のご協力のもと、ダム見学付きスペシャル運行を実施（毎月1回1日2便）
- ・運行ルート：道の駅「津軽白神」～津軽白神湖遊覧～道の駅「津軽白神」（全行程約1時間）
- ・乗車人数：平成29年度～令和6年度累計71,007人

○地酒のダム貯蔵

年間を通じて気温が安定して低く、紫外線の届かないダム監査廊で地酒を貯蔵。低温貯蔵の熟成効果による付加価値化を図っている

■施策イメージ



【ダム見学付き水陸両用バス】



【地酒のダム貯蔵】



■関連URL

<https://www.suirikubus.jp>

■担当部署

部署名：西目屋村 企画財政課
連絡先：0172-85-3080 メール：nishimeya-kikaku@vill.nishimeya.lg.jp

宮城県取組（プレミアムダムカードによる地域との連携）

■取組概要

- 宮城県では、ダムを観光資源として活用するダムツーリズムを推進しており、ダムツーリズムを通じて、治水上重要な役割を担っているダムについてより理解を深めていただいています。
- ダムツーリズムの一環として、ダムカードを配布しており、特定期間においては、「プレミアムダムカード」として各ダムの写真にホログラム加工を施した特別なカードを配布しています。
- プレミアムダムカードの配布は地域と連携したイベントになっており、ダム付近の協力店舗で提示すると食事代割引等のサービスが受けられます。

■プレミアムダムカードを活用したイベントの概要

- (1)対象ダム：仙台環境開発大倉ダム、パシフィックコンサルタンツ長沼ダム、花山ダム
- (2)実施期間：夏～秋（イベント実施期間については毎年異なります。）
- (3)イベントの流れ

①イベント対象ダムに設置している“ラプラスパネル”と一緒に写真を撮影



②それぞれの配布場所で写真を確認してもらい、プレミアムダムカードをゲット



③プレミアムダムカードを協力店舗に提示するとサービス（食事代割引等）が受けられる



※宮城県と株式会社ポケモンとの包括連携協定により、「ラプラス」がみやぎ応援ポケモンに任命されています。

■関連URL

<https://www.pref.miyagi.jp/site/lapras-plus-dam/2024.html>

■担当部署

部署名：宮城県 土木部河川課
連絡先：022-211-3182 kasen-da@pref.miyagi.lg.jp

- ◆ 鳴子ダムを活用したインフラツーリズムは、2016年、土木学会「選奨土木遺産」の認定を受けたことで、ダムの歴史的・技術的価値が再評価され、観光資源としてのポテンシャルが高まり、「国土交通省インフラツーリズム魅力増プロジェクト」のモデル地区として選定されたことが契機となった。
- ◆ 同プロジェクトは、具体的な取り組みを加速させる大きな推進力となり、みやぎ大崎観光公社や地元有志によるアクティビティチームなど、多様なステークホルダーとの連携体制を構築した。



■概要

■連携・施策イメージ

新しい旅のカタチ「インフラツーリズム」

地域と紡いだ「選奨土木遺産」

東北初の認定！
選奨土木遺産

「鳴子ネットワーク」が中心となり、官民一体の運動を展開し、認定に大きく貢献されました。

親子に大人気！「環境学習イベント」

環境学習イベント
**あつまれ！
鳴子ダム2023**

ダム湖ツアー、木登り体験、イワナのつかみ取り大会等

鳴子ダムすだれ放流限定ツアー

お客様の心に残る体験を
数社団法人
みやぎ大崎観光公社

鳴子ダムの普段立ち入れないエリアをご案内するオリジナルツアーを提供しています。

2025 完全予約制で復活しました！

2022年8月に認定！
日本夜景遺産

第17回「日本夜景遺産」において、鳴子ダムが「ライトアップ夜景遺産」の部門で認定されました。

ダムの湖面を活用した新しい体験！

豊かな地域資源に寄り添い新しい形の体験を
鳴子温泉もりたびの会

鳴子ダムをはじめ、鳴子温泉地域の豊かな自然に着目し、自然、文化、環境をテーマにした魅力ある観光コンテンツの開発と、その事業化に向けて取り組まれています。

ダムの湖面を活用した新しい体験！

鳴子温泉地域の有志で結成
鳴子アーススポーツプロジェクト

SUPで鳴子ダムの魅力を発信しています。

国民保養温泉地、鳴子温泉郷。鳴子ダムの活用によるインフラツーリズムで、持続可能な水源地域を目指している。



鳴子ダム
水源地域ビジョン

大崎市産業振興計画
大崎市観光振興ビジョン

加速する人口減少、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応等を踏まえて
訪れたい観光の振興を重点プロジェクトに位置づけています。

観光客の多様化するニーズへの対応と環境整備

観光コンテンツの充実と滞在交流型観光の推進

魅力の発信と情報発信力の強化 など

多様なステークホルダーとの連携体制により、持続可能な水源地域を目指します！

■関連URL

<https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/soshikikarasagasu/narukosogoushisho/chikishinkoka/5/4/3117.html>

■担当部署

部署名：大崎市鳴子総合支所 地域振興課
連絡先：0229-82-2111 メール：n-chiiki@city.osaki.miyagi.jp

群馬県長野原町の取組（河川空間のオープン化）

- 「河川空間のオープン化」を活用し、ハッ場ダム及びハッ場あがつま湖では様々なコンテンツを展開
- オープン化利用区域の施設利用申請窓口はハッ場ダム水源地域ビジョン協議会の認定を受け、（一社）つなぐカンパニーながのはらへ委託、同協議会内に利用審査会を設置し審査・利用許可をしています。

■ハッ場ダム 河川空間のオープン化利用区域

■利用実例

・ハッ場ダム 都市・地域再生等利用区域

①ダムサイトエリア

（堤体・下流広場・ダムサイト広場・リムトンネル）

②ハッ場大橋エリア（バンジージャンプ・湖面進入路）

③川原畑護岸エリア（養蜂）

④川原湯温泉駅周辺エリア

（キャンプ・BBQサイト・水陸両用バス進入路・カヌー、カヤック等進入路）

⑤ハッ場林ふるさと公園エリア

（公園・カヌー・カヤック等進入路）

⑥ハッ場湖の駅丸岩周辺エリア

（水陸両用バス進入路・ボート類進入路・観光船発着場所）

⑦長野原さくら公園エリア（公園）

⑧川原湯打越エリア（水陸両用バスの運行）



■関連URL

（一社）つなぐカンパニーながのはら ダムオープン化
<https://tsunacom.or.jp/act/dam>

■担当部署

部署名：長野原町 未来ビジョン推進課
連絡先：（0279）82-2229 メール：suigen@town.naganohara.gunma.jp

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、宮ヶ瀬ダムの建設と並行して、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図る組織として、平成4年10月に地方公共団体や民間団体の出捐より設立、水源環境の理解促進及び地域活性化の取組を行っています。

平成29年11月には、日本版DMO法人(現 観光地域づくり法人)に登録され、複数の市町村にまたがる地域連携DMOとして、官民の垣根、地域の垣根を越えた広域的な調整機能を発揮し、観光地域づくりに向けた様々な取組を推進しています。

概要

【主な取組のご紹介】

①ダム貯蔵食材・ダム貯蔵酒のプロデュース

年間を通して気温が一定しているダム内部の環境を活かして、宮ヶ瀬ダム監査廊内に、地元酒蔵の日本酒や農産品等の食材を貯蔵し、「**宮ヶ瀬ダム貯蔵**」という新しい価値を加えることにより、魅力ある名産品を創り出す取組を進めています。

②宮ヶ瀬グッズ等のプロデュース

神社仏閣などの「御朱印」やお城で販売される「御城印」のダム版である「**宮ヶ瀬ダム御城印**」や「**宮ヶ瀬ダム手ぬぐい**」を作成、販売しているほか、自分で制作した和紙に愛川町の御城印を押印できる体験を提供するなど、宮ヶ瀬ダムや歴史遺産、伝統工芸といった周辺地域の観光資源を活用したご当地土産をプロデュースし、宮ヶ瀬湖周辺地域のPRや観光消費額増加に取り組んでいます。

③地域クーポンの発行

事業者の皆様の協力のもと、DMOエリア内の店舗、施設などで優待を受けられる「**地域クーポン券**」を発行し、各施設や小田急本厚木駅等で配布を行うことで、周辺地域への集客や周遊の促進に取り組んでいます。

※上記の他、地域イベントと連携した取り組みや宮ヶ瀬周辺エリアの観光資源を巡るツアーの実施など、様々な取り組みを進めています。

施策イメージ

コンセプト:都心から一番近いオアシス水源地宮ヶ瀬



関連URL

<https://www.miyagase.or.jp>

担当部署

部署名: 公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺地域振興財団 企画振興課
連絡先: 046-288-3600 (代)

京都府宇治市の取組 (天ヶ瀬ダムの活用)

市の中心を流れる宇治川や世界遺産の平等院など、美しい自然環境と豊かな歴史・文化遺産に恵まれた都市である宇治市には、観光の中心地から徒歩で行くことが出来る「**天ヶ瀬ダム**」がある。

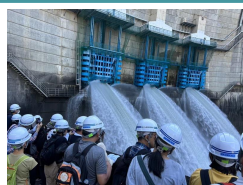
宇治市では「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」に基づき、夏の風物詩である宇治川の鶺鴒に加え、ダム体感ツアーなど、天ヶ瀬ダム周辺及び宇治橋周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光を目指した取組を進めている。

令和6年度までの取組概要

●天ヶ瀬ダムツアーの開催

管理支所や観光放流の見学に加え、ダム堤体の点検用通路であるキャットウォークや、ダム堤頂部を歩くことができるツアー。

(企画・実施)宇治市観光協会
(協力)淀川ダム統合管理事務所



観光放流の見学

●ダム夜間ライトアップ

夜間イベントでダムのライトアップを実施。

(主催)京のセタ in Uji実行委員会
(協力)淀川ダム統合管理事務所



ダムライトアップ

●Eポート川下り

天ヶ瀬ダム付近から宇治川を下るEポート川下りツアーを実施。

(主催)アオキカヌーワークス



Eポート川下り

今後の展開

●宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会の開催

天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、河川区域の活用について、地域の合意形成を図り、民間企業と行政が連携した取組を推進することを目的として開催。

「かわ」と「まち」の更なる周遊性の向上や河川空間のオープン化に向けた取組を引き続き行う。



※ダム周辺に展望スポット及び広場、駐車場等の整備を検討中

関連URL

<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/24/73558.html>

担当部署

部署名: 宇治市 産業観光部 観光振興課
連絡先: (0774) 39-9408 メール: kankoushinkouka@city.uji.kyoto.jp

安芸太田町にある温井(ぬくい)地区では、アーチ式ダムとしては日本2番目の高さ156mを誇る温井ダムを軸とした、ダム湖面を活用したウォーターアクティビティやグランピング施設経営を行っており、新たな観光資源を活用しながら誘客を図っています。令和7年度からは湖面がオープン化され、新たな見学ツアーを開催し、更なるダムツーリズムを推進していきます。

■温井エリアでの周辺状況

①湖面を活用したウォーターアクティビティ

ダム湖である龍姫湖では、令和4年9月からウェイクサーフィンやSUP等の、湖面を活用した社会実験を実施。令和7年度より湖面がオープン化され、事業を本格化させていく予定です。



②犬に特化したグランピング施設の運営

令和3年10月より犬に特化したグランピング施設である「温井ダムリゾート」の運営を開始しています。ドッグラン施設や犬との宿泊を可能にしていることから、犬愛好家の方々を中心に人気を得ています。



また、春と秋に犬まつりとして、約1,000人規模のイベントを開催しています。

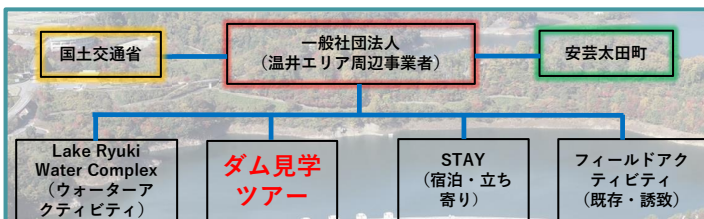


③旧温井スプリングス(ホテル)の営業再開

コロナ禍の影響により、令和3年9月より休業していましたが、令和6年8月より新たに「グローバリゾート温井」として営業を再開しました。



■連携イメージ



【インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト】

温井ダムがインフラツーリズム魅力倍増プロジェクトに選定されたことを受け、いくつかの見学コースを設定し、今後はダム見学ツアー等にも注力していきます。

- 1.キャットウォークコース…普段非公開の「点検用通路」を見学するコース
- 2.四季折々のコース…季節に応じた見どころスポットを紹介するコース
- 3.しわい階段チャレンジコース…高低差100m、段数477段の階段コース

■関連URL

<https://lakeryuki-wc.com/> <https://global-resort-residence.com/>
<https://www.nukui-glamping.com/>

■担当部署

部署名: 安芸太田町 道の駅推進チーム
連絡先: (0826)28-1961 メール: michinoeki@town.akiota.lg.jp

香川用水施設見学バスツアー等(香川県)

- 香川県は、県内の水道用水の約半分、農業用水の約3割を香川用水に依存
- 香川用水は、高知県・徳島県を水源とする吉野川から導水 **水源地域の恩恵は計り知れない**
- 令和6年の香川用水通水50周年を記念し、施設を見学するバスツアー等を実施
- このほか、平成6年度から「香川用水県外水源地学習事業」を実施

■香川用水施設見学バスツアー

💧 水源地見学コース R6.8.17(48人)



- 再生事業実施中の早明浦ダムを見学
- 水源の水に親しむ体験活動、特産品の土佐あかうしBBQ

💧 重要施設見学コース R6.9.7(26人)、11.30(25人)



- 池田ダム・香川用水取水工・宝山湖を見学
- 香川用水記念公園で歴史を学習

💧 身近な水路見学コース R6.11.9(22人)、12.14(17人)



- 香川用水の開水路等を見学

💧 参加者の感想

- どしどし有料インフラツアーをつくってほしい。
- ばく然としていた香川用水のしくみが良くわかりました。
- 子供がとても興味をもって熱心に聞いていて勉強になりました。
- 継続して開催してほしい。

■香川用水県外水源地学習事業

香川用水県外水源地学習事業 (中学生用)



概要

- 対象者: 小学4年生・中学1年生
- 早明浦ダムや池田ダムを含む香川用水関連施設を巡る見学学習に対する支援
R6 中学校11校1,158人、小学校27校1,099人
(オンライン授業: 小学校19校999人)

参加者の感想

- 香川の「命の水」を守る方々の存在と大変さを知り、感謝の気持ちが生まれました。

■担当部署

部署名: 香川県政策部水資源対策課
連絡先: 087-832-3128 メール: mizusigen@pref.kagawa.lg.jp
URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/mizusigen/mizu/kfvn.html>

○11月24日(日) 第2回鶴田ダム秋の大鶴湖まつりを開催し、町内外の来場者からたいへん好評いただきました。今後も、通常のダム見学とあわせて、秋の奥薩摩の名物行事として関係者と連携しながら、地域振興・活躍の場の創出・防災力強化を目標に継続していきます。



つるだ 鶴田ダムの 迫力の点検放流 を見学

2024.11.24(日) 9:30▶15:30(予定)

このほか、ダム操作見学やキッチンカーなど楽しい催しを準備しております！

イベント情報 第三弾

大鶴湖を遊覧船で ゆったり満喫

秋の大鶴湖まつり in 2024

主催 鶴田湖(鶴田ダム湖)インフラツーリズム関係者会議
問合せ 国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所 TEL0996-59-2030 イベント情報サイト



放流見学
～放流見学～

今回は手前のゲートを使っていなかったのでもう一つのゲートからの水量が多く、より勢いが増した放流となりました。

■参加者数：約650名
(堤体内見学、ダム放流見学、操作室見学、遊覧船)
■主催者：大鶴湖(鶴田ダム湖)インフラツーリズム関係者会議
(鶴田ダム管理所、川内川河川事務所、さつま町、伊佐市、電源開発㈱、ひっ翔べ！奥さつま探険隊、バイオマスワークあったらし会、水と地球、伊佐の風)

関係URL：<https://www.qsr.milt.go.jp/Tsuruta/>

担当部署：鶴田ダム管理所
連絡先：0996-59-2030

